

PAT-NO: JP02000149451A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2000149451 A
TITLE: OPTICAL DISK DRIVING DEVICE
PUBN-DATE: May 30, 2000

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
YOSHIMOTO, KYOSUKE	N/A
M, C RAO	N/A
OHATA, HIROYUKI	N/A
NAKANE, KAZUHIKO	N/A
FURUKAWA, TERUO	N/A
KONDO, JUNICHI	N/A
OTOTAKE, MASABUMI	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
MITSUBISHI ELECTRIC CORP	N/A

APPL-NO: JP2000000133
APPL-DATE: September 24, 1993

PRIORITY- 04265893 (October 5, 1992) , 04272673 (October 12,
DATA: 1992) , 04325319 (December 4, 1992)

INT-CL (IPC): G11B020/12 , G11B007/007

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To make simply and quickly obtainable the physical position of a target sector by finding the logical track address and the sector address corresponding to a linear logical address with an integer operation.

SOLUTION: Each physical track 9 corresponds to one rotation of an optical disk 2 and the track is divided into plural pieces of sectors 8. Plural lines of the physical tracks 9 are collected to form zones 10. Recording density is made to be roughly constant by rotatingly driving the disk 2 at a constant angular velocity while changing over clock frequencies in accordance with zones. A logical track is constituted of plural pieces of sectors 8. Since track addresses and sector addresses written in header parts correspond to linear

addresses from a host device as they are, a logical track address and a logical sector address can be found from integer quotients and a remainder in the division of (a linear logical address)/(the number of sectors per one logical track). Thus, a table for an address conversion is unnecessitated.

COPYRIGHT: (C) 2000, JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-149451

(P2000-149451A)

(43) 公開日 平成12年5月30日 (2000.5.30)

(51) Int.Cl.⁷

識別記号

F I

テマコード* (参考)

G 1 1 B 20/12

G 1 1 B 20/12

7/007

7/007

審査請求 有 請求項の数 1 O L (全 18 頁)

(21) 出願番号 特願2000-133 (P2000-133)
 (62) 分割の表示 特願平5-238354の分割
 (22) 出願日 平成5年9月24日 (1993.9.24)

(31) 優先権主張番号 特願平4-265893
 (32) 優先日 平成4年10月5日 (1992.10.5)
 (33) 優先権主張国 日本 (J P)
 (31) 優先権主張番号 特願平4-272673
 (32) 優先日 平成4年10月12日 (1992.10.12)
 (33) 優先権主張国 日本 (J P)
 (31) 優先権主張番号 特願平4-325319
 (32) 優先日 平成4年12月4日 (1992.12.4)
 (33) 優先権主張国 日本 (J P)

(71) 出願人 000006013
 三菱電機株式会社
 東京都千代田区丸の内二丁目2番3号
 (72) 発明者 吉本 恭輔
 京都府長岡京市馬場園所1番地 三菱電機
 株式会社映像システム開発研究所内
 (72) 発明者 エム・シー・ラオ
 岡山県倉敷市昭和2丁目4番10号 プラザ
 デオデッサ 1002号
 (74) 代理人 100083840
 弁理士 前田 実

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 光ディスク駆動装置

(57) 【要約】

【目的】 光ディスクのクロストークを抑制し、欠陥処理を容易にする。異なるタイプの記録領域の混在を容易にする。

【構成】 本発明の光ディスク(2)においては、記録領域内に設けられ、それぞれ一回転分に相当する物理トラック(9)を有し、該記録領域が複数のゾーン(#0～#30)に分割され、各ゾーンは互いに隣接する複数の物理トラックから成り、記録の単位であるセクタが1物理トラック中に整数個配置され、外側のゾーンほど記録角密度が高くされ、これにより記録線密度はすべてのゾーンでほぼ一定とされ、所定数のセクタにより、物理トラックに依らず、論理トラックが構成されている。

ZN	S/R	PT/Z	S/Z	ES/Z	LT/G	ALT/G	S/G	ES/G	DES
0	59	741	43719	43719	2572	47	43724	43724	6
1	58	740	42920	80639	2525	44	42925	80649	10
2	57	740	42180	128819	2481	43	42177	128828	7
3	56	740	41440	170259	2435	44	41446	170272	13
4	55	740	40700	210659	2394	43	40658	210670	11
5	54	740	39960	250919	2351	44	39967	250937	18
6	53	740	39220	290139	2307	43	39219	290156	17
7	52	740	38480	329819	2264	44	38488	329844	25
8	51	740	37740	369359	2220	44	37740	369384	25
9	50	740	37000	408359	2176	43	36982	408378	17
10	49	740	36260	446819	2133	44	36281	446837	18
11	48	740	35520	485139	2089	43	35513	485150	11
12	47	740	34780	523619	2046	44	34782	523632	13
13	46	740	34040	562059	2002	43	34034	562068	7
14	45	740	33300	600459	1959	44	33303	600469	10
15	44	740	32560	638819	1915	43	32555	638824	5
16	43	740	31820	677139	1872	44	31824	677148	9
17	42	740	31080	715459	1828	43	31076	715474	5
18	41	740	30340	753759	1785	44	30345	753768	10
19	40	740	29600	792059	1741	43	29587	792068	7
20	39	740	28860	830359	1698	44	28868	830378	13
21	38	740	28120	868659	1654	43	28118	868660	11
22	37	740	27380	906959	1611	44	27387	906978	18
23	36	740	26640	945259	1567	43	26639	945288	17
24	35	740	25900	983559	1524	44	25908	983594	25
25	34	740	25160	1021859	1480	44	25160	1021944	25
26	33	740	24420	1060159	1436	43	24412	1060156	17
27	32	740	23680	1098459	1393	44	23681	1098378	18
28	31	740	22940	1136759	1349	43	22933	1136770	11
29	30	740	22200	1175059	1306	42	22202	1175072	13
30	29	741	21460	1213359	1264		21468	1213380	12

【特許請求の範囲】

【請求項1】記録領域内に設けられ、それぞれ一回転分に相当する物理トラックを有し、該記録領域が1または2以上の円周状の境界線によって複数のゾーンに分割され、各ゾーンは互いに隣接する複数の物理トラックからなる光ディスクにおいて、

記録の単位であるセクタが1物理トラック中に整数個配置され、

外側のゾーンほど記録角密度が高くされ、これにより記録線密度はすべてのゾーンではほぼ一定とされ、

上記光ディスクの全ての記録領域が、一定数のセクタからなる論理トラックで構成されており、各セクタのヘッダ領域に記録されたトラックアドレスを指定することにより各セクタが上記論理トラックのいずれに属するものか特定できる光ディスクの駆動装置において、

リニアな論理アドレス番号を論理トラック当たりのセクタ数で割ったときの整数商および剰余を求めることにより、該リニアな論理アドレス番号に対応した論理トラックアドレスおよびセクタアドレスを求める手段を有する光ディスク駆動装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、角速度一定で回転駆動されてデータの読み書きが行なわれる光ディスクに関し、特に記録面が複数のゾーンに分割され、より外側のゾーンにおいてより高い周波数のクロックを用いて書き込み読み出しを行なうことにより、記録線密度がディスクの内周側と外周側とではほぼ一定となるようにした光ディスクに関する。

【0002】本発明はまた、ゾーン毎に異なる種類の記録媒体として用いることができ、また各ゾーンの媒体の種類の設定を変更し得る光ディスクに関する。

【0003】本発明はさらに、上記のような光ディスクの書き込みおよび読み出しに用いる駆動装置および光ディスクの書き込み読み出し方法に関する。

【0004】

【従来の技術】従来のこの種の光ディスクとして、ECMA/TC31/92/36に提案されたフォーマットを持つ片面1GBの光ディスクがある。この提案によれば、光ディスクの記録面がその径方向位置によって、即ち1または2以上の円周状の境界線によって複数のゾーンに均等に、即ち、各ゾーン内の物理トラックの数が同じになるように、分割されている。ゾーンの数、セクタサイズによって異なるが、例えば、512バイト/セクタなら54のゾーンに分割され、1024バイト/セクタなら30のゾーンに分割される。

【0005】各物理トラックは整数個のセクタを有する。各ゾーン内においては、各トラック内のセクタの数は同じである。より外側のゾーン程、各トラック内のセクタの数は多い。

【0006】また、光ディスクには、書き込みの可否、その態様に応じて、何度でも書き込みが可能なR/Wタイプ、一度だけ書き込みが可能なWOタイプ、ディスク生産時に予めデータが書き込んであり、その後は書き込みができないO-ROMタイプとがある。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】従来の光ディスクでは、ゾーンごとに1トラックのセクタ数が異なるため、例えばSCSI機器として、上位の装置からリニアな（連続した整数の）論理アドレスを与えられた場合、目的のセクタの物理的位置を割出すアルゴリズムが複雑になる。また、各ゾーンの最も外側または最も内側の物理トラック内のセクタのデータ部は、隣接するゾーンの最も内側または最も外側の物理トラックのセクタのヘッダ部に隣接することがあり、この結果、該ヘッダ部からのクロストークの影響が大となることがあると言う問題があった。これは、データ部の情報は光磁気的に書き込まれているのに対し、ヘッダ部の情報はビットの形態で書き込まれており、ヘッダ部のデータの方が変調度が大きいからである。なお、各ゾーンの内部では、ヘッダ部同士が隣接し、またデータ部同士が隣接しており、ヘッダ部とデータ部が隣接することがないため、このようなクロストークの問題は少ない。

【0008】また、上記のように、光ディスクには、R/Wタイプ、WOタイプ、O-ROMタイプとがあるが、これらを同一のディスクに混在させて、光ディスクの用途を広げることが望まれる。しかるに従来、一枚のディスク上にR/Wタイプのメモリ領域とO-ROMタイプのメモリ領域とを備えたP-ROMタイプがあるのみであった。

【0009】本発明は、上記のような問題点を解消するためになされたもので、外部から与えられたアドレスに応じて、ディスク上の目的セクタの物理的位置を簡単にかつ迅速に求めることができる光ディスクを提供することを目的とする。

【0010】本発明の他の目的は、隣接するゾーンの境界近くに位置するトラックのクロストークによる再生信号の誤りや外乱をなくすことにある。

【0011】本発明の他の目的は、1枚の光ディスクに、異なるタイプの記録領域の混在させ、その用途を広げることにある。

【0012】本発明の他の目的は、上記のような光ディスクの駆動に用いる駆動装置および光ディスクの書き込み読み出し方法を提供することにある。

【0013】

【課題を解決するための手段】本発明の光ディスク駆動装置は、記録領域内に設けられ、それぞれ一回転分に相当する物理トラックを有し、該記録領域が1または2以上の円周状の境界線によって複数のゾーンに分割され、各ゾーンは互いに隣接する複数の物理トラックからなる

光ディスクにおいて、記録の単位であるセクタが1物理トラック中に整数個配置され、外側のゾーンほど記録角密度が高くされ、これにより記録線密度はすべてのゾーンでほぼ一定とされ、上記光ディスクの全ての記録領域が、一定数のセクタからなる論理トラックで構成されており、各セクタのヘッダ領域に記録されたトラックアドレスを指定することにより各セクタが上記論理トラックのいずれに属するものか特定できる光ディスクの駆動装置において、リニアな論理アドレス番号を論理トラック当たりのセクタ数で割ったときの整数商および剰余を求めることにより、該リニアな論理アドレス番号に対応した論理トラックアドレスおよびセクタアドレスを求める手段を有する。

【0014】

【作用】本発明の光ディスク駆動装置は、リニアな論理アドレス番号を論理トラック当たりのセクタ数で割ったときの整数商および剰余を求めることにより、該リニアな論理アドレスに対応した論理トラックアドレスおよびセクタアドレスを求めることとしているので、上位装置から供給されたリニアな論理アドレスから論理トラックおよびセクタアドレスへの変換を、テーブルを参照することなく、簡単な整数演算で行なうことができる。従って、駆動装置の構成または上記変換を行なうためのソフトウェアが簡単なものでよい。

【0015】

【実施例】実施例1

まず、本発明の実施例1の光ディスクを図1ないし図5を参照して説明する。図1及び図3は本発明の実施例1の光ディスクの構成を示す図である。案内溝1は、光ディスク2上にあらかじめスパイラル状に形成されている。光スポット3は、図示しない光学系で、図示しない光源からの光を集束させて、案内溝1の間のランド部12を照射する。ヘッダ部4は、セクタアドレス5及びトラックアドレス6を含んでいる。ヘッダ部4は、ランド部12にエンボスないしスタンピングにより形成されたビットからなり、ディスクの生産時に形成される。即ち、プリフォーマットされている。これに対し、データ部7はデータが光磁気的に書込まれ、読み出されるものである。ビットの形態で書込まれたヘッダ部4の情報とデータ部7のデータとは同一の光ビームにより読取られる。ヘッダ部4とデータ部7でセクタ8を構成している。

【0016】各物理トラック9は、光ディスク2の1回転に相当し、整数個のセクタに分割されている。物理トラックが整数個集まって、ゾーン10、10a、10b、10cを構成する。即ち、光ディスク2の記録面のうちの通常の記録領域（ユーザーゾーン）は、光ディスクの中心を中心とする複数の同心円によって複数のゾーンに分割され、記録領域内の物理トラック9の各々は何れかのゾーンに属する。本実施例では、図5に示すよう

に、31ゾーン（ゾーン#0から#30まで）に分けられている。最外側のゾーン#0と最内側のゾーン#30は741本の物理トラックで構成され、他のゾーンは740本の物理トラックで構成されている。最外周のゾーン10aのセクタ数が最も多く、内周側のゾーンほどセクタが少ない。隣接するゾーン間で物理トラック当たりのセクタ数の差は1以上であり、図示の例では1である。

【0017】使用に際し、書き込み／読み出しヘッドがディスクのどのゾーンをアクセスしているかに拘らず、ディスクは定角速度で回転駆動される。

【0018】ディスクの記録領域（ユーザー領域）の全体で記録線密度をほぼ一定とするため、どのゾーンにデータを記録するかに応じて、記録に用いられるクロックの周波数が変更ないし切換えられ、より外側のゾーンでより高い周波数が用いられる。

【0019】読み出しの際、書き込み／読み出しヘッドが一つのゾーンから他のゾーンに移るとき、クロックの周波数が切換えられる。

【0020】ゾーン10bの最も内側のトラック11b及びゾーン10cの最も外側のトラック11cは、図4に示すように、1物理トラックを構成するセクタ数が異なるためトラック11bのトラックヘッダ部4-1とトラック11cのデータ部7-2の一部、トラック11cのヘッダ部4-2とトラック11bのデータ部7-1の一部が隣接している。

【0021】以上のような物理的な構造に、各々整数個のセクタで論理トラックを構成し、各々整数個の論理トラックで回転グループを構成する。図示の例では、各論理トラックは17セクタで構成される。各セクタは1024バイトの長さを有する。各回転グループは各ゾーンに対応し、各回転グループの外周側縁部及び内周側縁部は、それぞれ対応するゾーンの外周側縁部及び内周側縁部に略一致する。以下、各ゾーンと回転グループの対応関係、各ゾーン内の物理トラック数と各回転グループ内の論理トラック数との関係などを図5を参照して説明する。図5で、各欄の上部の記号は各々以下のような意味を持つ。

【0022】ZN： ゾーン番号

S/R： 1回転（1物理トラック）当たりのセクタ数

PT/Z： 該当ゾーンの物理トラック数

S/Z： 該当ゾーンのセクタ数：S/R×PT/Z

ΣS/Z： 各ゾーンのセクタ数（S/Z）の累計

LT/G： 該当回転グループの論理トラック数

ΔLT/G： 隣接する回転グループ間の論理トラック数（LT/G）の差

S/G： 該当回転グループのセクタ数：LT/G×17

ΣS/G： 各回転グループのセクタ数（S/G）の累計

DΣS: 各ゾーンのセクタ数の累計と各回転グループのセクタ数の累計の差: $\Sigma S/G - \Sigma S/Z$

複数の論理トラックが集って、1回転グループを構成する。各回転グループは、各ゾーンに対応する。各回転グループに属するセクタの数が対応するゾーンに属するセクタの数にほぼ等しくなるように、各回転グループを構成する論理トラックの数が定められる。この結果、各回転グループの始点および終点($\Sigma S/G$ の値で表わされる)は対応するゾーンの始点、終点($\Sigma S/Z$ の値で表わされる)と必ずしも一致せず、数セクタのずれが生じる。最初の回転グループの始端と最初のゾーンの始端とは一致している。図5の累計の差(右端の欄: DΣSの値で表わされ)は上記の始点、終点のずれを表わし、各回転グループの最後の部分のセクタであって、対応するゾーンではなく、その次のゾーン内に位置するものの数を示す。最後の回転グループのセクタのうち、最後のゾーンからはみ出すもの(図示の例では12セクタ)は記録面の予備の領域(最も内側のゾーンの内側に設けられている)内に形成される。

【0023】このように論理トラックを配置したディスクにおいては、ディスクのヘッダ部に書き込まれたトラックアドレスおよびセクタアドレスがそのまま、上位装置からのリニアな(一次元の連続した整数で表わされる)論理アドレスに対応するので、簡単な整数演算で実際のセクタアドレスやトラックアドレスが計算できると言う利点がある。また、ゾーンが異なれば、1回転のセクタ数が異なるが、1論理トラック当たりのセクタ数が一定(図5に示す例ではどの回転グループでも「17」)であるので、上記の計算においてそれを考慮しないで済むという利点がある。

【0024】さらに、セクタのディスク上の物理的位置を示す物理トラックアドレス及びセクタアドレスも、論理トラックアドレスおよびセクタアドレスから、簡単な計算で求めることができる。

【0025】実施例2

次に、図6および図7を参照して、実施例2の光ディスクについて説明する。図6は、実施例2の光ディスクの一部を示す概念図、図7は実施例2の論理的トラック構造を示す表である。図6に示すように、隣り合うゾーンの境界13の近傍においては、各ゾーンの少なくとも一本の物理トラック14、15がガードトラックとして指定され、ここにはユーザによるデータが記録が行なわれない。また、各ゾーンのうちの少なくとも一方の物理トラック16がテストトラックとして指定され、ここにもユーザによるデータの記録が行なわれない。図示の例では、各ゾーンの最も内側の物理トラック14がガードトラックとして指定され、各ゾーンの最も外側の物理トラック16が、テストトラックとして指定され、各ゾーンの外側から2番目の物理トラック15がガードトラックとして指定されている。

【0026】ガードトラック14、15はゾーンの境界付近におけるクロストークを避けるためのものである。ガードトラックには、データを記録するトラックとは独立したアドレス(トラックアドレスおよびセクタアドレス)が与えられる。ガードトラックのアドレスは、データの記録に用いられるセクタに与えられるアドレスの範囲外のものである。この結果、データの記録および読み出しの際に、ガードトラックがアクセスされることがない。このように、ガードトラックはデータの記録には用いられない。

【0027】テストトラック16は、記録パワーの調整に用いられるものであり、例えば駆動装置の電源が投入されたときに、記録パワーを変えながら、テストトラックにテストデータを記録して再生し、各記録パワーにおける誤り率を検出することにより最適の記録パワーを求める。

【0028】図示のように、テストトラック16として、ガードトラック14、15の間のトラックを指定すると、仮に過大なパワーでテストデータの記録が行なわれても、通常のデータの記録に用いられるトラックは影響を受けないと言う利点がある。しかし、他の物理トラックをテストトラックと指定することも可能である。

【0029】テストトラックにも、データ記録用のセクタとは独立にアドレスが与えられる。テストトラックのアドレスは、データの記録に用いられるセクタに与えられるアドレスの範囲外のものである。この結果、データの記録および読み出しの際に、テストトラックがアクセスされることがない。このように、テストトラックはデータの記録には用いられない。

【0030】ガードトラックおよびテストトラック以外のトラックをデータ記録用のトラックとし、17セクタを1論理トラックとして、論理トラックを構成する。この時隣接する回転グループ相互間で、論理トラック本数が一定の値、図示の例では43本の差がつくように論理トラック本数を決定する。こうすれば、論理トラック本数が簡単な整数演算で計算できるため、テーブルなどによる管理が不要である。

【0031】図7は、実施例2の論理トラック構造を示す。この論理的トラック構造は図5のものと概して同じである。しかし、ゾーン#0と#30が他のゾーン#1~#29と同一の740物理トラックからなっている。

【0032】図7において、各欄の上部の記号のうち図5と同じものは図5と同じ意味を持つ。G+Tは各ゾーンのガードトラックおよびテストトラックのセクタ数を表わす。

【0033】本実施例2は、上記の実施例1に対し、以下の点で優れている。すなわち、実施例1では、各回転グループの最後の論理トラックの後端が対応するゾーンの後端と一致せず、幾分はみ出しており、そのはみ出すセクタ数も図5でもわかるように一定ではない。この場

合、クロックの切り替わりを論理トラック内で制御する必要がある。従って、交代処理（欠陥のあるセクタの代りに同じ回転グループ内の予備のセクタにアクセスするための処理）と実際の物理的な配置による制御（クロックの切換え等）の二重の管理をしなくてはならないという欠点がある。また、ゾーンの境界付近で、隣接する物理トラック相互間でクロストークが発生するおそれがあるという問題がある。さらに、各回転グループ用のテストトラックもなく、十分な記録パワーの調整ができない。また、各回転グループの論理トラック数の間に規則性がなく、各回転グループ内の論理トラック数を記憶したテーブルを備え、アクセス時にこのテーブルを参照して論理アドレスから物理アドレスへの変換を行なう必要がある。

【0034】図7に示す実施例2の論理トラック構造は、上記のような実施例1での問題点を解決するものであり、各回転グループの論理トラックが対応するゾーンからはみ出すことがない。また、ガードトラックを設けたことにより、ゾーンの境界付近でのクロストークをなくすることができる。さらにテストトラックを設けたので、記録パワーの調整にこれを利用することができる。さらに、隣り合う回転グループのトラック数相互間の差が一定であり、論理アドレスから物理アドレスへの変換を簡単な演算で行なうことができ、変換のためのテーブルを設ける必要がない。

【0035】実施例3

以下、図8を参照して実施例3について説明する。実施例3は、概して実施例2と同一であるが、以下の点で異なる。

【0036】実施例2の論理トラックのフォーマットには、各回転グループ内で規定の論理トラックを確保した余りのセクタ（記録には用いられない）の数が一定ではない。このため物理的な位置を計算する際に、この余りのセクタ数を、テーブルに記憶しておく必要があるという問題点がある。

【0037】図8に実施例2での問題点を解決する論理トラック構造を示す。各欄の上部の記号のうち図5および図7と同じものは同じ意味を持つ。DUMは、各ゾーン内で、論理トラックを確保した残りのセクタ数、ΔDUMは、隣接するゾーン間で、この残りのセクタ数DUMの差である。また、RESは、DUMとG+Tの和である。

【0038】図8において、論理トラック数LT/Gが隣接する回転グループ相互間で所定数、例えば43異なるようにした上で、さらに3物理トラックのガードトラックとテストトラックを確保し、残ったセクタ数DUMが、隣接する回転グループ相互間で所定数、図示の例では6、異なるようにした。このようにすれば、物理的な位置を計算する際に、この余りのセクタ数DUMの差が一定であるので、これをテーブルに記憶して置かなくと

も、一定の定数として計算式に組込めばよく、計算が簡単である。

【0039】実施例4

以下、図9および図10を参照して、実施例4について説明する。この実施例は、実施例2と1回転グループあたりの物理トラック数と、ディスク全体の回転グループ数が異なることを除いて同一である。

【0040】実施例3の論理トラックのフォーマットは、実施例1及び実施例2の問題点を解決し、論理トラック確保後の残りのセクタ数は正数であることから、論理トラックがゾーンの境界をまたぐこともない。また、論理アドレスから、実際の物理的な位置を計算する際は、テーブルによらず整数演算で計算することが可能となる。しかし、残りのセクタが常にデータの記録をしない無駄なセクタとして存在することになり、ディスクの容量を十分に活用していないという問題点がある。図9及び図10に実施例3での問題点を解決する論理トラック構造を示す。図9が1024バイト/セクタ、図10が512バイト/セクタの場合である。図9及び図10において、各ゾーンあたりの全セクタ数が、丁度論理トラックを整数本分に相当し、かつ、論理トラック本数が隣合うゾーン相互間の論理トラック数の差が一定（図9の場合には、176、図10の場合には54）となるように、配置されている。

【0041】なお、図示の例では、ガードトラック及びテストトラックを設けていないが、実施例3と同様に確保することも可能である。

【0042】実施例5

以下、図11および図12を参照して、実施例5について説明する。この実施例では、1セクタは1024バイトから成る。ディスクの構成は、図1～図3に示すものと概して同じであるが、各セクタのヘッダ部が図1のものとは異なる。即ち、図11に示すように、二つのアドレス部4aおよび4bを有する。アドレス部4aおよび4bの各々は、トラックアドレス部6、セクタアドレス部5およびID部21を有する。二つのアドレス部4aおよび4bのトラックアドレス部6およびセクタアドレス部5には同じアドレスが書き込まれている。このアドレスはそのセクタのアドレスを表わす。同じアドレスが二重に書き込んであるのは、信頼度を増すためである。ID部21は一番目のアドレス部4aと二番目のアドレス部4bのアドレスを識別するためのもので、例えば、アドレス部4aのID部21には「0」が、アドレス部4bのID部21には「1」が書き込んである。

【0043】図12は論理トラックの配置を示す。この図において、各欄の上部の記号のうち、図5、図7および図8と同じものは同じ意味を持つ。S/LTは論理トラック一本当たりのセクタ数を表わす。図示のトラックの配置は概して図5のものと同じであるが、以下の点で異なる。まず、ゾーンの数図5のごとく31ではな

く、30である。そして、各ゾーンは752本の物理トラックを有する。さらに、各論理トラックは2の4乗即ち16個のセクタを有する。

【0044】図11に示すように、トラックアドレス6は、16ビットで構成され、0から22560までの値を示すのに用いられている。セクタアドレス5は、4ビットで構成され、0から15までの値を示すのに用いられている。

【0045】以上のように、上記実施例では、トラックアドレスを16ビットに設定したため、トラックアドレスの計算が容易である。

【0046】実施例6

次に図13および図14を参照して、実施例6を説明する。この実施例でも、1セクタは1024バイトから成る。この実施例では、図13に示すように、ゾーン0から29まで各々768本の物理トラック10から構成されており、その中に、128セクタで1論理トラックを構成する。また、アドレスは2重書きとする。図14にその場合のヘッド部4a、4bのフォーマットを示す。トラックアドレス6は、16ビットで構成され、0から23040までの値を表わすのに用いられ、セクタアドレス5は、7ビットで構成され、0から127までの値を表わすのに用いられている。IDアドレス7は「0」または「1」をとる。

【0047】このような論理トラックの配置は、ディスクから読み出したトラックアドレスとセクタアドレスがそのまま、上位装置からのリニアな論理アドレスに対応して、簡単な整数演算で実際のトラックアドレスおよびセクタアドレスが計算できるという利点がある。また、実際の1回転のセクタ数(1物理トラックのセクタ数)が異なっても、それを考慮しないで済むという利点がある。なお、図11及び図14に示す例では、アドレスが2重書きされているが、2回以外であっても、2のm乗(mは整数)回多重に記録することとしても良い。この場合、IDは、何回目のアドレスであるかを示すものとする。

【0048】実施例7

次に、図15および図16を参照して、上記のような光ディスクを駆動装置にローディングして、目的セクタをアクセスする際の動作を説明する。図15は、光ディスク2の書き込み、読み出しに用いられる光ディスク駆動装置31と上位装置32とを示す。光ディスク2は実際には、光ディスク駆動装置31内にローディングされるが、便宜上光ディスク駆動装置31の外に図示してある。光ディスク駆動装置31は上位装置32から、光ディスク2に対する書き込み、読み出しの指令を書き込み、読み出しを行なうべきアドレスとともに受取る。このアドレスはリニアなものである。

【0049】以下、このような指令を受けた駆動装置が、与えられたアドレスに基づいて対応するセクタが属

するトラックをシークする動作を説明する。書き込みおよび読み出しの動作自体は周知であるので省略する。

【0050】図16は、上記のようなシークのための動作を示す。まず、駆動装置31は、ディスク2上の、ヘッド部の現在位置(現に書き込み/読み出しヘッドが対向している位置)の論理トラックのアドレスを読み込む(102)。次に、この読み込まれた論理トラックのアドレスから、その論理トラックが属するゾーンの番号を計算する(104)。次に、アドレスが読み込まれた論理トラックの物理的位置を計算する(106)。次に、上位装置32からのリニアな論理アドレスを論理トラックアドレスに変換する(108)。次に、目的論理トラックアドレスのゾーン番号を計算する(110)。次に、目的セクタの物理的位置を計算する(112)。次にゾーン番号を考慮して、現在位置と目的位置との間の物理トラック数を計算する(114)。求められた物理トラック数を利用してシーク動作を開始する(116)。以上の動作を目的トラックに達するまで繰返す(118)。

【0051】目的トラックに達したら、各セクタのヘッド部のアドレスを読み取って、目的のセクタを探す。

【0052】先に述べた実施例の光ディスクを用いると、以上のようなシーク動作において、下記のような利点がある。例えば、光ディスクが実施例1、2、3の光ディスクである場合には、ステップ108における変換が簡単な計算によって行ない得る。即ち、論理トラックアドレスA_tおよび論理セクタアドレスA_sは割算における整商、剰余として求められる。即ち、 $A_t / (S/LT)$

ここで、S/LTは論理トラック当たりのセクタ数、A_tは上位装置からのリニアな論理アドレスである。従って、アドレスの変換のためのテーブルが不要であり、装置の構成あるいはシークのためのソフトウェアに簡単となる。

【0053】また、実施例2の光ディスクを用いた場合には、ステップ104および110におけるゾーン番号の算出(ゾーンの特定)が以下の関係式を用いて行ないうる。即ち、与えられたA_tに対して

$$17 \times (ZN+1) \times \{LT/GZN=0 + (LT/GZ$$

$$N=0 - \Delta LT/G \times ZN) \} / 2 > 17 \times A_t +$$

(テーブルに記憶されている残りのセクタ数)を満足する最小のZNが求めるゾーン番号になる。ここでLT/GZN=0はゾーン#0内の論理トラックの数である。従って、テーブルには、比較的小さな数値である、残りセクタ数を記憶させれば良い。従って、装置の構成あるいはシークのためのソフトウェアが簡単となる。

【0054】さらに、実施例4の光ディスクを用いた場合には、ステップ104および110におけるゾーン番号の算出(ゾーンの特定)を以下の関係式を用いて行な

い得る。即ち、与えられたAtに対して

$$17 \times (ZN+1) \times \{LT/GZN=0 + (LT/GZ$$

$$N=0 - \Delta LT/G \times ZN)\} / 2 > 17 \times At$$
 を満足する最小のZNが求めるゾーン番号になる。従って、残りセクタ数を用いての修正が不要である。従って、ステップ104やステップ110あるいはシークのためのソフトウェアが簡単となる。

【0055】実施例8

次に図17および図18を参照して、本発明の実施例8を説明する。この実施例は、実施例2で説明したテストトラックを有する光ディスクに書き込みを行なうに先立ち、書き込みに使うレーザービームのパワーの調整を行なうためのものである。このようなパワーの調整の機能は、図15に示した光ディスク駆動装置に設けられる。図17は、そのような機能を持つ光ディスク駆動装置31の機能を示すブロック図である。図示のように、この光ディスク駆動装置31は、CPU、ROMおよびRAMを備えた制御回路33と、記録回路34と、レーザ制御回路35と、半導体レーザを内蔵した書き込み/読み出しヘッド36と、再生回路37と、再生品質評価回路38とを備えている。制御回路33は、上位装置32からの指令を受取って、パワー調整の実施のための制御信号を装置31内の各部に送る。このとき、書き込みに用いるレーザのパワーの初期値を出力する。記録回路34は、制御回路33からの制御信号に基づきテストデータの記録を行なう。即ち、所定の内容のデータを提供する。レーザ制御回路35は、記録回路34から供給されたデータを変調して書き込み/読み出しヘッドに送る。この際、半導体レーザのパワーを制御回路33からの出力された初期値に設定する。書き込み/読み出しヘッド36は、与えられたデータを設定されたパワーで記録する。そして、記録したデータを読み取る。再生回路37は、書き込み/読み出しヘッド36で読み取られたデータを復調する。再生品質評価回路38は、再生回路37からのデータが記録回路34から与えられたデータに対しどの程度の忠実であるか、即ち誤り率がどの程度であるかを計算し、これにより再生品質を評価する。この評価結果に基づき、制御回路33は、パワーの設定値を変更する。これを繰返してパワーの最適値を求める。

【0056】図18は、上記のパワーの設定値の変更を繰返して、パワーの最適値を求める過程を示す。まず、パワーを初期値に設定して(202)、書き込みを行なう(204)。次に書き込んだデータを再生する(206)。そして、品質を評価する(208)。品質が良ければ終了する。良くなければ、パワーが大き過ぎるどうかの判断をする(210)。大き過ぎる場合にはパワーの設定値を下げる(212)。逆に小さ過ぎる場合にはパワーの設定値を上げる(214)。そして、ステップ204に戻る。以上の動作を、再生品質が良好となるまで繰返す。

【0057】実施例9

次に、図19を参照して、実施例9の光ディスクを説明する。この実施例のディスクの構造は、実施例1のディスクと概して同じである。しかし、以下に詳しく説明するように、ゾーンごとに異なるタイプの記録領域として設定可能である点で異なる。

【0058】図19に示すような論理トラック構造を配置する。図19は1024バイト/セクタで17セクタ/論理トラックの場合である。各欄の上部の記号のうち、図5、図7、図8および図12と同じものは同じ意味を持つ。FLTは各ゾーンの最初の論理トラックのアドレスである。LTは各ゾーンのうち、データ論理トラック、予備トラックまたはパリティトラックのトラック番号を示す。TESTは各ゾーン内のテストトラックのトラック番号を示す。PARは各ゾーン内のパリティトラックの数を示す。パリティトラックは対応するゾーンがO-ROM (fully embossed) に設定された時にパリティシンボルを記録するために用いられる。

【0059】図19に示すように、記録領域は、ゾーン番号で0から29までの30ゾーンに分けられおり、各ゾーンは748本の物理トラックからなっている。各ゾーンの論理トラック数は各ゾーンのセクタ数を17で除することにより得られる。パリティトラックは、各ゾーン内の所定の位置に設けられ、パリティトラック数はゾーン番号の増加にともない144から86まで順に2ずつ減少するよう設定される。この結果、各ゾーンのパリティトラックアドレスを求める際に、パリティトラック数を所定数(2)ずつ減少させればよく、簡単な整数計算で算出する事ができ、アドレスを記憶したテーブル等が不要である。

【0060】図20は1024バイト/セクタの本発明実施例9のディスク構造管理表の説明図である。ディスク構造管理表は欠陥管理領域(ユーザーゾーンの先頭の部分:最初のゾーンの先頭の部分)の最初のセクタに設けるものである。

【0061】図20において第0バイトから第21バイトまでは欠陥処理に関する情報であり、本発明と直接に関係がないためここでは省略する。第22バイトから第51バイトまではゾーン#0からゾーン#29までの各ゾーンのタイプを特定するものである。ここでタイプとはR/W、WO、O-ROMの3種であり、図中の各バイトNo.の行の「01」は対応するゾーンがR/Wタイプであることを表わし、「02」は対応するゾーンがO-ROMタイプであることを表わし、「03」は対応するゾーンがWOであることを表わす。図20の表で、「(01)」、「(02)」、「(03)」の間の「/」は「または」を意味する。

【0062】ディスクがR/Wタイプのときはディスク構造管理表の第22~51バイトをすべて「01」にし、WOタイプのときは第22~51バイトをすべて

「03」に、O-ROMタイプのときは第22～51バイト「02」に設定する。また、P-ROM（即ちR/WタイプのゾーンとO-ROMタイプのゾーンの混在したもの）のときは、R/Wタイプのゾーンに対応するバイトは「01」となり、WOタイプのゾーンに対応するバイトは「02」となる。

【0063】ディスクが（R/W+WO）タイプ即ち、R/WタイプのゾーンとWOタイプのゾーンの混在したものである場合には、R/Wタイプのゾーンに対応するバイトは「01」に、WOタイプのゾーンに対応するバ

イトは「03」に設定される。

【0064】ディスクが（WO+O-ROM）タイプ即ち、W/OタイプのゾーンとO-ROMタイプのゾーンの混在したものである場合には、W/Oタイプのゾーンに対応するバイトは「03」に、O-ROMタイプのゾーンに対応するバイトは「02」に設定される。

【0065】ディスクが（R/W+WO+O-ROM）タイプ即ち、R/WタイプのゾーンとWOタイプのゾーンとO-ROMタイプのゾーンの混在したものである場合には、R/Wタイプのゾーンに対応するバイトは「01」に、WOタイプのゾーンに対応するバイトは「03」に、O-ROMタイプのゾーンに対応するバイトは「02」に設定される。

【0066】各ゾーンのタイプは他のゾーンとは独立に設定可能である。

【0067】このように、従来の光ディスクとしては、R/Wタイプ、WOタイプ、O-ROMタイプ、R/Wタイプの部分とO-ROMタイプの部分が混在するP-ROMタイプの4種類しかなかったが、本実施例では、上記の4種類に加えて、R/Wタイプの部分とWOタイプの部分の混在したタイプ、W/Oタイプの部分とO-ROMタイプの部分とが混在したタイプ、R/Wタイプの部分と、W/Oタイプの部分とO-ROMタイプの部分とが混在したタイプの3種類が可能であり、全部で7種類のディスクが得られる。

【0068】また、従来のP-ROMタイプでは、ディスクの最初のゾーンからあるゾーンまではR/Wタイプで、その次のゾーンからは最後のゾーンまではO-ROMタイプのゾーンとなっている、即ち、ディスクを径方向に即ちディスクの中心を中心とする円周状の境界線により2分割したもののみであった。これに対し、本実施例では、1つのディスク上の各ゾーンのタイプを自由に設定することが可能である。

【0069】実施例10

以下、図21を参照して実施例10について説明する。既に述べたように、ディスクは一定の角速度で回転駆動され、記録および読み出しに用いられるクロックの周波数はゾーンによって切換えられる。ディスクに、R/Wタイプ、WOタイプ、O-ROMタイプを混在させる場合、R/Wタイプのゾーンを最も外周側に、WOタイプ

のゾーンを次に、O-ROMタイプのゾーンを最も内側に配置する。これは、外周側ほど、データ転送レートが高いことを考慮し、最も頻繁にアクセスが行なわれるタイプのゾーンを外周側に配置することとしているのである。即ち、R/Wタイプがリード、ライト、イレーズの3動作を実行するために3つのタイプのうちもっとも頻繁にアクセスされるので、最も外周側に配置し、またWOタイプとO-ROMタイプとでは、前者が後者に対して1回ではあるが書き込み動作がよけいにあることを考慮して、WOタイプの方をより外周側に配置している。

【0070】実施例11

次に、図22を参照して実施例11について説明する。実施例10と同様の光ディスクにおいて、図21に示すように、R/Wタイプ、WOタイプを混在させる場合、R/Wタイプのゾーンを最も外側に、WOタイプのゾーンを内側に配置する。これは、外周側ほど、データ転送レートが高いことを考慮し、最も頻繁にアクセスが行なわれるタイプのゾーンを外周側に配置している。

【0071】実施例12

次に、図23を参照して実施例12について説明する。実施例10と同様の光ディスクにおいて、図21に示すように、WOタイプ、O-ROMタイプを混在させる場合、WOタイプのゾーンを外側に、O-ROMタイプのゾーンを内側に配置する。これは、外周側ほど、データ転送レートが高いことを考慮し、より頻繁にアクセスが行なわれるタイプのゾーンを外周側に配置している。即ち、WOタイプとO-ROMタイプとでは、前者が後者に対して1回ではあるが書き込み動作がよけいにあることを考慮して、WOタイプの方をより外周側に配置している。

【0072】実施例13

次に図24を参照して実施例13について説明する。この実施例は、以下に述べるように、ゾーンの属性を変更する機能を持った光駆動装置31に関するものである。図示のように、上位装置32と、駆動装置31は、たとえばSCSIのようなインターフェースでつながれている。また、光ディスク2は、実際には光ディスク駆動装置31内にローディングされる。

【0073】この実施例13では、光ディスクは全面R/W領域として作成されている。ただし、「空き」と表示した領域は最初は、アクセス不能になっている。光ディスク駆動装置に、各ゾーンの属性の管理テーブルを書き直すコマンドAを実行する機能を持たせ上位装置から、コマンドAを受取るとコマンドに指定されたゾーンの属性を、たとえば図24のように属性をWOに変更し、これとともに、「空き」領域をアクセス可能にする（B）。属性がWOに変更された領域に、データを書き込むと、この書き込まれたデータは、その領域の属性がWO属性に変更されているため、書換えができない。即ち、この部分はROMとなる。一方、新たにアクセス可

能となったR/W領域には、書き込み、読み出しが可能である。従って、これにより、P-ROMと等しい機能をもつ光ディスクを得ることができる。

【0074】以上の様な、属性の変更はユーザがディスクの使用中には行ない得る。また、一端WOに変更した後、R/Wに戻すことも可能である。

【0075】ROM部分をエンボスにより形成したP-ROMのディスクは、その制作のためには、原盤を作成する必要があるため、複製する枚数が少ない場合には、1枚あたりのディスクのコストが高くなる。これに対し、上記実施例の如くにディスクを制作すれば、ROM部分をエンボスにより形成したP-ROMディスクと等価なディスクが安価に得られる。

【0076】実施例14

次に、図25を参照して実施例14について説明する。この実施例も、ゾーンの属性を変更する機能を持った光駆動装置31に関するものである。図24に示した実施例では、R/W領域のデータのある部分を全面的にWO属性に書き直している。図25ではコマンドCで指定されたゾーンのみ、指定された属性(図示の例ではWO)に書き換えられる(D)。たとえばあるゾーンに書き込まれたデータのみ改ざん防止したい場合などに応用できる。

【0077】実施例15

次に図26を参照して実施例15について説明する。この実施例は、ゾーンの属性を変更しバックアップコマンドを実行する機能を持った光駆動装置31に関するものである。図26において、図24と同様の部分は説明を省略する。光ディスク2は、複数のゾーンに分割され、各々のゾーンの属性は、管理テーブル41で管理されている。図26において、各ゾーンはR/W領域とWO領域の交互にその属性を定義され、WO領域とR/W領域とはほぼ同じ総容量を有する。

【0078】バックアップコマンドを実行するための具体的な制御の手順を図27を参照して説明する。図27において、上位装置からコマンドを受信すると(302)コマンドの内容を判断し(304)、容量の問い合わせであれば、R/W領域の容量を返答する(306)。リードまたはライトコマンドであれば(308)、書き込み/読み出しヘッドがR/W領域をアクセスしているかをチェックし(310)、R/W領域であればコマンドを実行する(312)。また、バックアップコマンドであれば(314)、直ちに上位装置32に実行完了を返し(316)、上位装置32からのアクセスを監視しながらアクセスのない状態であれば、随時R/W領域のデータをWO領域に複写する(320)。このとき必要があれば、管理テーブル内の対応するゾーンの属性を、複写に先立って「R/W」に書き換え(318)、複写後に元の戻す(322)。図26において、バックアップコマンドEに対して、テーブルの書き換え

FおよびH、そしてデータの複写Gが実行されることを示している。なお、WO領域の総容量をR/W領域の総容量よりも大きくしておいても良い。

【0079】実施例16

次に図28を参照して、実施例16について説明する。この実施例も、ゾーンの属性を変更する機能を持った光駆動装置31に関するものである。図28において、図26と同様な部分は説明を省略する。光ディスク2は両面に記録可能なものである。光ディスク駆動装置31は光ディスク2の両面にディスクをうらがえすことなく、リードライトする機能を持つ。ここでA面(表)はR/W領域であり、B面(裏)はWO領域である。図27に示したのと同様の手順によって、バックアップコマンド(I)により、B面の属性をR/W領域に一端変更し(J)、A面のデータをB面に複写し(K)、しかる後B面の属性をWOに戻す(L)。WO領域にデータ複写するので、領域の属性を変更する機能を持たない光ディスク装置によって、データが破壊されることはない。

【0080】実施例17

次に図29および図30を参照して、実施例17について説明する。この実施例も、ゾーンの属性を変更する機能を持った光駆動装置31に関するものである。図29において図26、図28と同様な部分は説明を省略する。図30に示すように、光ディスク駆動装置が上位装置32から、リストアコマンドMをうけると(402)ただちに上位装置に完了を返し(404)、WO領域のデータをR/W領域に複写する(406)。

【0081】

【発明の効果】本発明の光ディスク駆動装置は、リニアな論理アドレス番号を論理トラック当たりのセクタ数で割ったときの整数商および剰余を求めることにより、該リニアな論理アドレスに対応した論理トラックアドレスおよびセクタアドレスを求めることとしているので、上位装置から供給されたリニアな論理アドレスから論理トラックおよびセクタアドレスへの変換を、テーブルを参照することなく、簡単な整数演算で行なうことができる。従って、駆動装置の構成または上記変換を行なうためのソフトウェアが簡単なものでよい。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明に係る光ディスクの構造を示す概略斜視図である。

【図2】 本発明に係る光ディスクの構造を示す概略平面図である。

【図3】 案内溝およびランド部を一部断面にして示す斜視図である。

【図4】 本発明に係る光ディスクのゾーンの境界付近のトラックの構造図である。

【図5】 本発明の実施例1におけるディスクのフォーマットを示す説明図である。

【図6】 本発明の実施例2におけるガードトラックお

17

よびテストトラックの配置を示す概略部分平面図である。

【図7】 本発明の実施例2におけるディスクのフォーマットを示す説明図である。

【図8】 本発明の実施例3におけるディスクのフォーマットを示す説明図である。

【図9】 本発明の実施例4におけるディスクのフォーマットの一例を示す説明図である。

【図10】 本発明の実施例4におけるディスクのフォーマットの他の例を示す説明図である。

【図11】 本発明の実施例5におけるヘッダ部のフォーマットを示す説明図である。

【図12】 本発明の実施例5におけるディスクのフォーマット例を示す説明図である。

【図13】 本発明の実施例6におけるフォーマットを示す説明図である。

【図14】 本発明の実施例6におけるヘッダ部のフォーマットを示す説明図である。

【図15】 光ディスクの書き込み、読み出しに用いられる光ディスク駆動装置と上位装置32とを示す概略図である。

【図16】 光ディスクの目的セクタをアクセスする際の駆動装置の動作を示す流れ図である。

【図17】 パワー調整をする機能を備えた光ディスク駆動装置を示すブロック図である。

【図18】 パワー調整のための動作を示す流れ図である。

【図19】 本発明の実施例9におけるディスクのフォーマットを示す説明図である。

18

【図20】 実施例9に係るディスク構造管理説明図である。

【図21】 実施例10に係る光ディスクにおける、各タイプの記録領域の配置を示す図である。

【図22】 実施例11に係る光ディスクにおける、各タイプの記録領域の配置を示す図である。

【図23】 実施例12に係る光ディスクにおける、各タイプの記録領域の配置を示す図である。

【図24】 実施例13に係る光ディスク及び光ディスク駆動装置の構造図である。

【図25】 実施例14に係る光ディスク及び光ディスク駆動装置の構造図である。

【図26】 実施例15に係る光ディスク及び光ディスク駆動装置の構造図である。

【図27】 実施例15に係る処理の流れ図である。

【図28】 実施例16に係る光ディスク及び光ディスク駆動装置の構造図である。

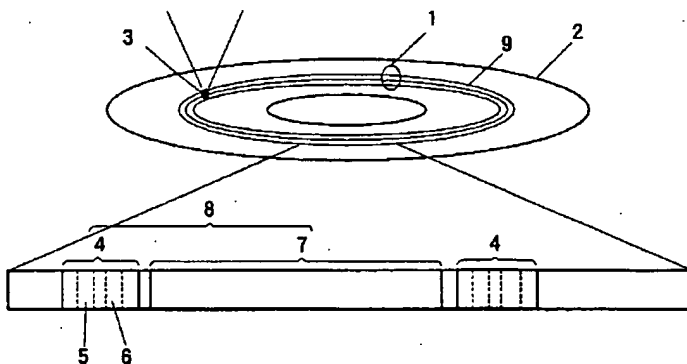
【図29】 実施例17に係る光ディスク及び光ディスク駆動装置の構造図である。

【図30】 実施例17に係る処理の流れ図である。

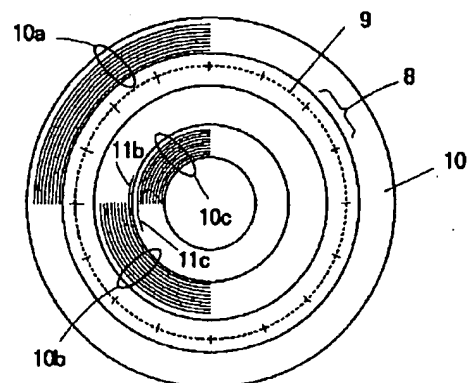
【符号の説明】

1 案内溝、2 光ディスク、3 光スポット、4、4a、4b ヘッダ部、5 セクタアドレス部、6 トラックアドレス部、7 データ部、8 セクタ、9 物理トラック、10 ゾーン、11 トラック、12 ランド部、13 ゾーンの境界、14、15 ガードトラック、16 テストトラック、21 IDアドレス、31 光ディスク駆動装置、32 上位装置、41 管理テーブル。

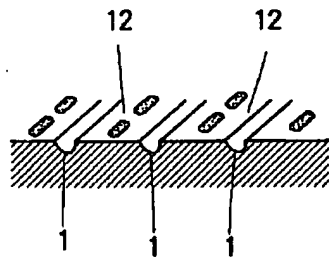
【図1】



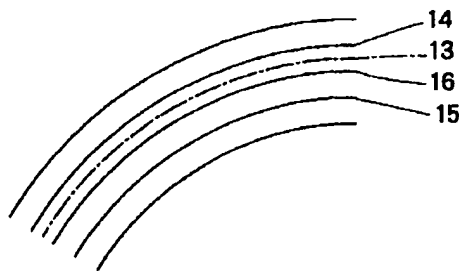
【図2】



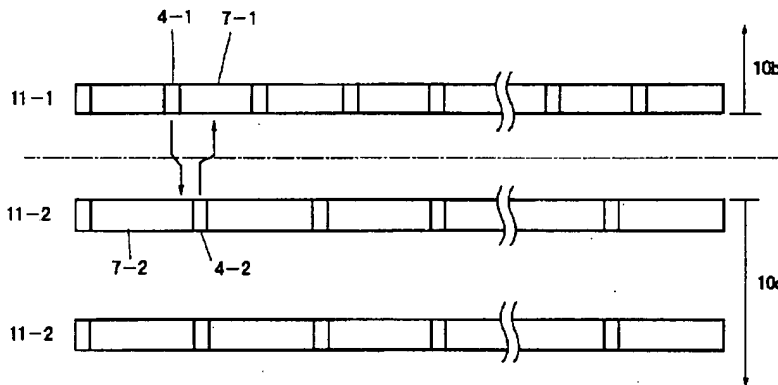
【図3】



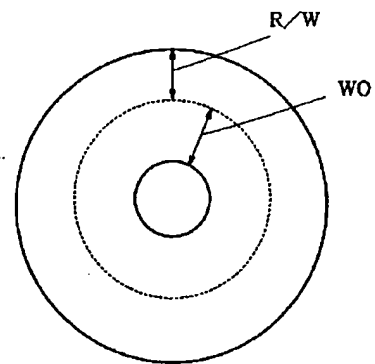
【図6】



【図4】



【図22】



【図8】

ZN	S/R	PT/Z	S/Z	RES	G+T	DUM	ΔDUM	LT/G	ΔLT/G	S/G
0	58	740	43680	381	177	184		2547	43	43298
1	58	740	42320	352	174	178	6	2504	43	42568
2	57	740	42180	343	171	172	6	2461	43	41837
3	56	740	41440	334	168	166	6	2418	43	41106
4	55	740	40700	325	165	160	6	2375	43	40375
5	54	740	39960	316	162	154	6	2332	43	39644
6	53	740	39220	307	159	148	6	2289	43	38913
7	52	740	38480	298	156	142	6	2245	43	38182
8	51	740	37740	289	153	136	6	2203	43	37451
9	50	740	37000	280	150	130	6	2160	43	36720
10	49	740	36260	271	147	124	6	2117	43	35989
11	48	740	35520	262	144	118	6	2074	43	35258
12	47	740	34780	253	141	112	6	2031	43	34527
13	46	740	34040	244	138	106	6	1988	43	33796
14	45	740	33300	235	135	100	6	1945	43	33065
15	44	740	32560	226	132	94	6	1902	43	32334
16	43	740	31820	217	128	88	6	1859	43	31603
17	42	740	31080	208	125	82	6	1816	43	30872
18	41	740	30340	199	123	76	6	1773	43	30141
19	40	740	29600	190	120	70	6	1730	43	29410
20	39	740	28860	181	117	64	6	1687	43	28679
21	38	740	28120	172	114	58	6	1644	43	27948
22	37	740	27380	163	111	52	6	1601	43	27217
23	36	740	26640	154	108	46	6	1558	43	26486
24	35	740	25900	145	105	40	6	1515	43	25755
25	34	740	25160	136	102	34	6	1472	43	25024
26	33	740	24420	127	99	28	6	1429	43	24293
27	32	740	23680	118	96	22	6	1386	43	23562
28	31	740	22940	109	93	16	6	1343	43	22831
29	30	740	22200	100	90	10	6	1300	43	22100

【図9】

ZN	LT/G	PT/Z	S/R
0	5,104	1496	58
1	4,928	1496	56
2	4,752	1496	54
3	4,576	1496	52
4	4,400	1496	50
5	4,224	1496	48
6	4,048	1496	46
7	3,872	1496	44
8	3,696	1496	42
9	3,520	1496	40
10	3,344	1496	38
11	3,168	1496	36
12	2,992	1496	34
13	2,816	1496	32
14	2,640	1496	30

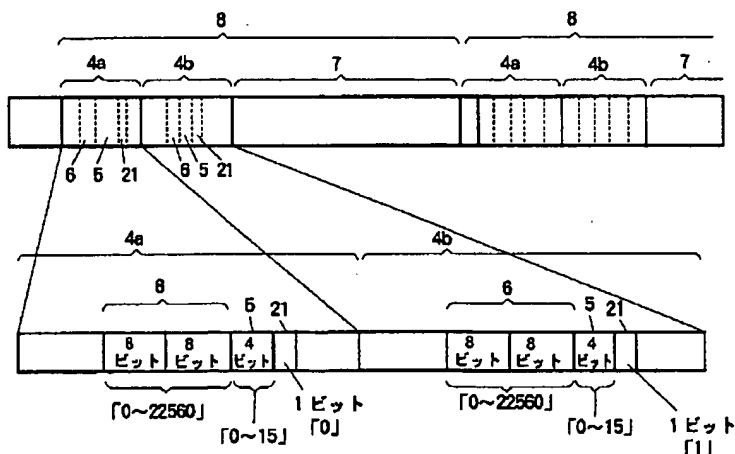
【図5】

ZN	S/R	PT/Z	S/Z	ES/Z	LT/G	ALT/G	S/G	ES/G	DES
0	59	741	43719	43719	2572	47	43734	43724	5
1	58	740	42920	86639	2525	44	42925	86649	10
2	57	740	42180	128819	2481	43	42177	128826	7
3	56	740	41440	170259	2438	44	41448	170272	13
4	55	740	40700	210599	2394	43	40698	210670	11
5	54	740	39960	250919	2351	44	39967	250937	18
6	53	740	39220	290139	2307	43	39219	290156	17
7	52	740	38480	328819	2264	44	38488	328844	25
8	51	740	37740	368359	2220	44	37740	368384	25
9	50	740	37000	408359	2176	43	36992	408378	17
10	49	740	36260	439619	2133	44	36261	439637	18
11	48	740	35520	475139	2089	43	35518	475150	11
12	47	740	34780	509919	2046	44	34782	509932	13
13	46	740	34040	543959	2002	43	34034	543966	7
14	45	740	33300	577259	1959	44	33303	577269	10
15	44	740	32560	609819	1915	43	32556	609824	5
16	43	740	31820	641639	1872	44	31824	641648	9
17	42	740	31080	672719	1828	43	31076	672724	5
18	41	740	30340	703059	1785	44	30345	703069	10
19	40	740	29600	732659	1741	43	29597	732666	7
20	39	740	28860	761519	1698	44	28868	761532	13
21	38	740	28120	789639	1654	43	28118	789650	11
22	37	740	27380	817019	1611	44	27387	817037	18
23	36	740	26640	843659	1567	43	26639	843676	17
24	35	740	25900	869559	1524	44	25908	869584	25
25	34	740	25160	894719	1480	44	25160	894744	25
26	33	740	24420	919139	1436	43	24412	919156	17
27	32	740	23680	942819	1393	44	23681	942837	18
28	31	740	22940	965759	1349	43	22933	965770	11
29	30	740	22200	987959	1306	42	22202	987972	13
30	29	741	21489	1009448	1264		21488	1009460	12

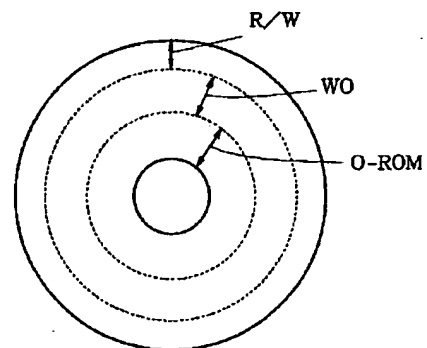
【図7】

ZN	S/R	PT/Z	S/Z	ES/Z	G+T	LT/G	S/G	ALT/G	ES/G
0	59	740	43680	43680	177	2549	43333	43	43333
1	58	740	42920	86580	174	2506	42602	43	86595
2	57	740	42180	128780	171	2463	41871	43	127806
3	56	740	41440	170200	168	2420	41140	43	168946
4	55	740	40700	210900	165	2377	40409	43	208955
5	54	740	39960	250860	162	2334	39678	43	249033
6	53	740	39220	290080	158	2291	38947	43	287980
7	52	740	38480	328560	156	2248	38216	43	326196
8	51	740	37740	368300	153	2205	37485	43	363681
9	50	740	37000	408300	150	2162	36754	43	400435
10	49	740	36260	439560	147	2119	36023	43	436458
11	48	740	35520	475080	144	2076	35292	43	471750
12	47	740	34780	509860	141	2033	34561	43	506811
13	46	740	34040	543900	138	1990	33830	43	540141
14	45	740	33300	577200	135	1947	33099	43	573240
15	44	740	32560	609780	132	1904	32368	43	605608
16	43	740	31820	641580	129	1861	31637	43	637245
17	42	740	31080	672660	126	1818	30906	43	668151
18	41	740	30340	703000	123	1775	30175	43	698326
19	40	740	29600	732800	120	1732	29444	43	727770
20	39	740	28860	761450	117	1689	28713	43	756483
21	38	740	28120	789580	114	1646	27982	43	784465
22	37	740	27380	815060	111	1603	27251	43	811716
23	36	740	26640	843600	108	1560	26520	43	838236
24	35	740	25900	869500	105	1517	25789	43	864025
25	34	740	25160	894660	102	1474	25058	43	889083
26	33	740	24420	919080	99	1431	24327	43	913410
27	32	740	23680	942760	96	1388	23596	43	937006
28	31	740	22940	965700	93	1345	22865	43	959871
29	30	740	22200	987900	90	1302	22134	43	982005
30	29	740	21460	1009360	87	1259	21403		1003408

【図11】



【図21】



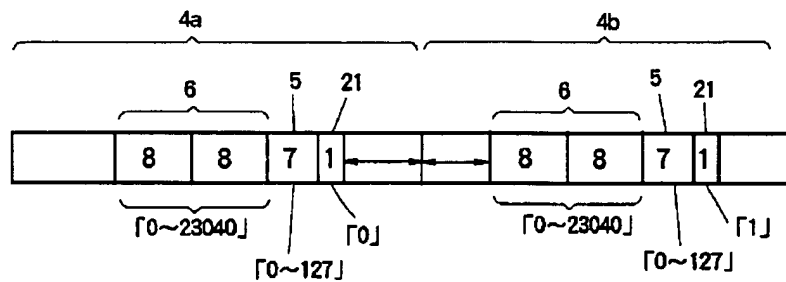
【図10】

ZN	LT/G	PT/Z	S/R
0	2862	837	108
1	2808	837	104
2	2754	837	102
3	2700	837	100
4	2646	837	98
5	2592	837	96
6	2538	837	94
7	2484	837	92
8	2430	837	90
9	2376	837	88
10	2322	837	86
11	2268	837	84
12	2214	837	82
13	2160	837	80
14	2106	837	78
15	2052	837	76
16	1998	837	74
17	1944	837	72
18	1890	837	70
19	1836	837	68
20	1782	837	66
21	1728	837	64
22	1674	837	62
23	1620	837	60
24	1566	837	58
25	1512	837	56
26	1458	837	54

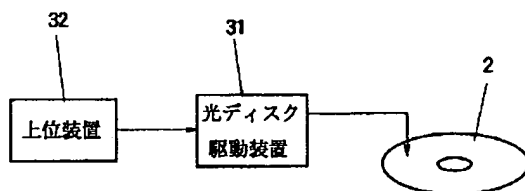
【図12】

ZN	S/R	PT/Z	S/Z	S/LT	LT/G	S/G
0	58	752	44368	16	2773	44368
1	58	752	43616	16	2726	43616
2	57	752	42864	16	2679	42864
3	56	752	42112	16	2632	42112
4	55	752	41360	16	2585	41360
5	54	752	40608	16	2538	40608
6	53	752	39856	16	2491	39856
7	52	752	39104	16	2444	39104
8	51	752	38352	16	2397	38352
9	50	752	37600	16	2350	37600
10	49	752	36848	16	2303	36848
11	48	752	36096	16	2256	36096
12	47	752	35344	16	2209	35344
13	46	752	34592	16	2162	34592
14	45	752	33840	16	2115	33840
15	44	752	33088	16	2068	33088
16	43	752	32336	16	2021	32336
17	42	752	31584	16	1974	31584
18	41	752	30832	16	1927	30832
19	40	752	30080	16	1880	30080
20	39	752	29328	16	1833	29328
21	38	752	28576	16	1786	28576
22	37	752	27824	16	1739	27824
23	36	752	27072	16	1692	27072
24	35	752	26320	16	1645	26320
25	34	752	25568	16	1598	25568
26	33	752	24816	16	1551	24816
27	32	752	24064	16	1504	24064
28	31	752	23312	16	1457	23312
29	30	752	22560	16	1410	22560

【図14】



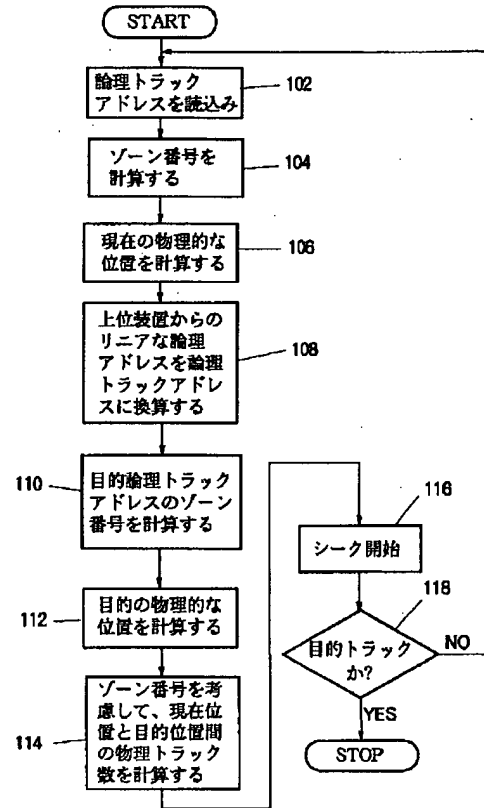
【図15】



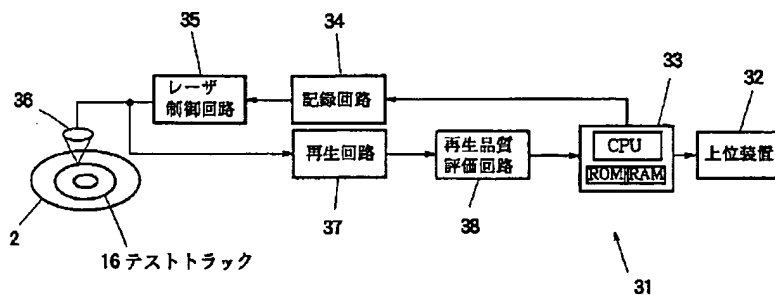
【図13】

ZN	S/R	PT/Z	S/Z	S/LT	LT/G	S/G
0	59	768	45312	128	354	45312
1	58	768	44544	128	348	44544
2	57	768	43776	128	342	43776
3	56	768	43008	128	336	43008
4	55	768	42240	128	330	42240
5	54	768	41472	128	324	41472
6	53	768	40704	128	318	40704
7	52	768	39936	128	312	39936
8	51	768	39168	128	306	39168
9	50	768	38400	128	300	38400
10	49	768	37632	128	294	37632
11	48	768	36864	128	288	36864
12	47	768	36096	128	282	36096
13	46	768	35328	128	276	35328
14	45	768	34560	128	270	34560
15	44	768	33792	128	264	33792
16	43	768	33024	128	258	33024
17	42	768	32256	128	252	32256
18	41	768	31488	128	246	31488
19	40	768	30720	128	240	30720
20	39	768	29952	128	234	29952
21	38	768	29184	128	228	29184
22	37	768	28416	128	222	28416
23	36	768	27648	128	216	27648
24	35	768	26880	128	210	26880
25	34	768	26112	128	204	26112
26	33	768	25344	128	198	25344
27	32	768	24576	128	192	24576
28	31	768	23808	128	186	23808
29	30	768	23040	128	180	23040

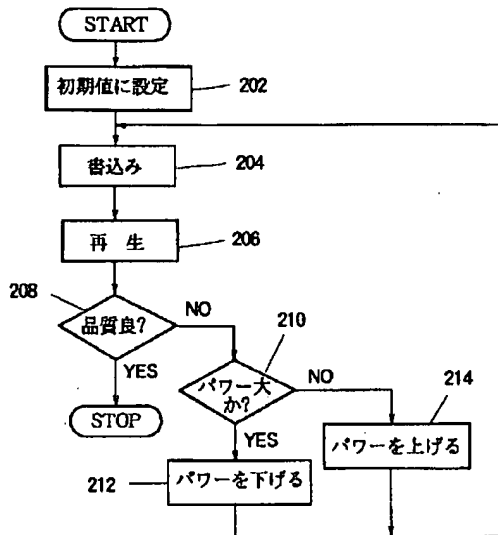
【図16】



【図17】



【図18】



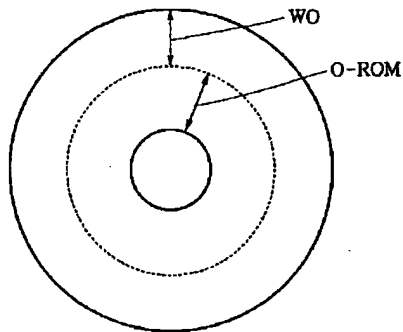
【図19】

ZN	PT/Z	S/R	LT/G	FLT	LT	TRST	DUM	PAR
0	748	59	2598	00000	00004-02583	02588-02591	5	144
1	748	58	2562	02588	02600-05135	05140-05143	5	142
2	748	57	2508	05148	05128-07843	07848-07851	5	140
3	748	56	2484	07856	07860-10107	10112-10115	5	138
4	748	55	2420	10120	10124-12527	12532-12535	5	136
5	748	54	2376	12540	12544-14903	14908-14911	5	134
6	748	53	2332	14916	14920-17235	17240-17243	5	132
7	748	52	2288	17248	17252-19523	19528-19531	5	130
8	748	51	2244	19536	19540-21767	21772-21775	5	128
9	748	50	2200	21780	21784-23967	23972-23975	5	126
10	748	49	2156	23980	23984-26123	26128-26131	5	124
11	748	48	2112	26136	26140-28235	28240-28243	5	122
12	748	47	2068	28248	28252-30303	30308-30311	5	120
13	748	46	2024	30316	30320-32327	32332-32335	5	118
14	748	45	1980	32340	32344-34307	34312-34315	5	116
15	748	44	1936	34320	34324-36243	36248-36241	5	114
16	748	43	1892	36256	36260-38135	38140-38143	5	112
17	748	42	1848	38148	38152-39983	39988-39991	5	110
18	748	41	1804	39996	40000-41787	41792-41795	5	108
19	748	40	1760	41800	41804-43547	43552-43555	5	106
20	748	39	1716	43560	43564-45263	45268-45271	5	104
21	748	38	1672	45276	45280-46935	46940-46943	5	102
22	748	37	1628	46948	46952-48563	48568-48571	5	100
23	748	36	1584	48576	48580-50147	50152-50155	5	98
24	748	35	1540	50160	50164-51687	51692-51695	5	96
25	748	34	1496	51700	51704-53183	53188-53191	5	94
26	748	33	1452	53196	53200-54635	54640-54643	5	92
27	748	32	1408	54648	54652-56043	56048-56051	5	90
28	748	31	1364	56056	56060-57407	57412-57415	5	88
29	748	30	1320	57420	57424-58727	58732-58735	5	86

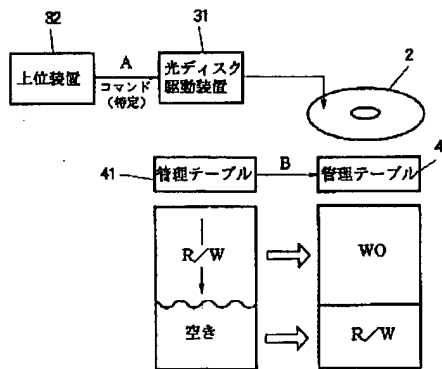
【図20】

バイト No.	内 容	設 定						
		R/W	WO	O-ROM	R/W+O-ROM	R/W+WO	WO+O-ROM	R/W+WO+O-ROM
22	ゾーン0タイプ	(01)	(03)	(02)	(01)/(02)	(01)/(03)	(03)/(02)	(01)/(03)/(02)
23	ゾーン1タイプ	(01)	(03)	(02)	(01)/(02)	(01)/(03)	(03)/(02)	(01)/(03)/(02)
50	ゾーン28タイプ	(01)	(03)	(02)	(01)/(02)	(01)/(03)	(03)/(02)	(01)/(03)/(02)
51	ゾーン29タイプ	(01)	(03)	(02)	(01)/(02)	(01)/(03)	(03)/(02)	(01)/(03)/(02)

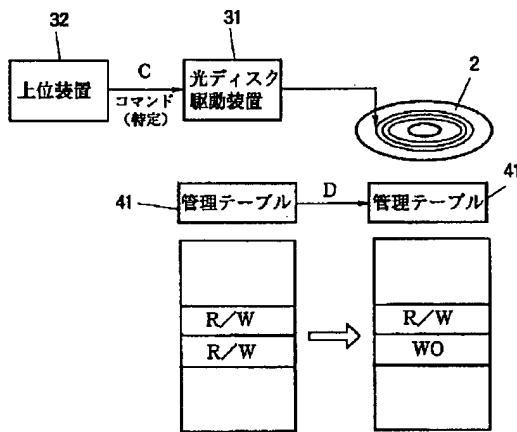
【図23】



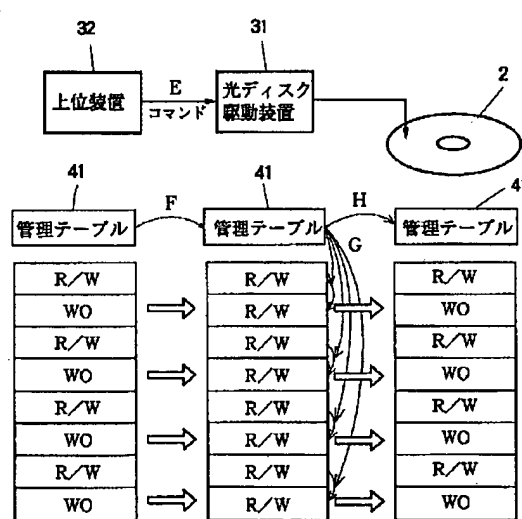
【図24】



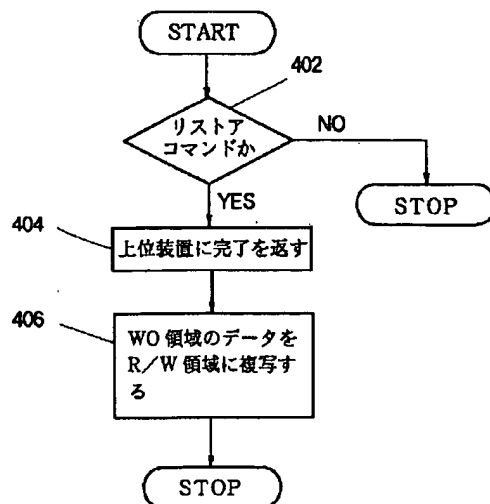
【図25】



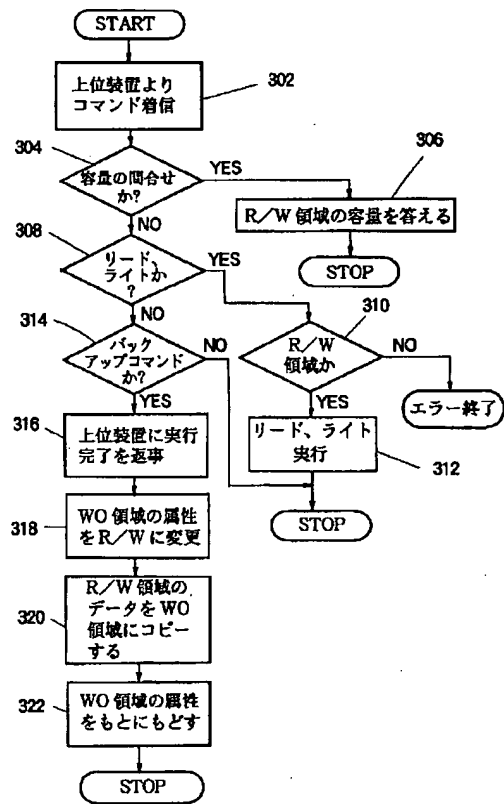
【図26】



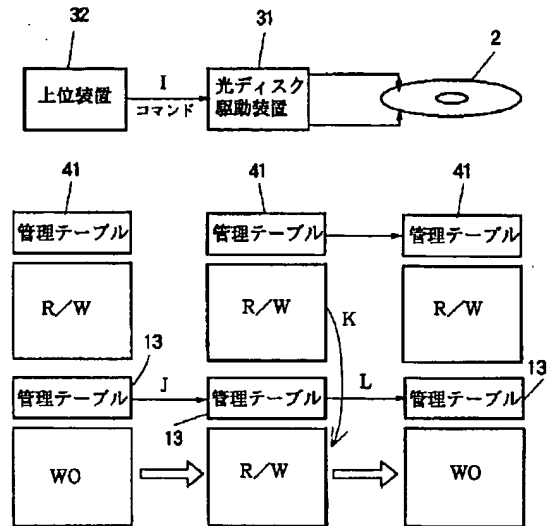
【図30】



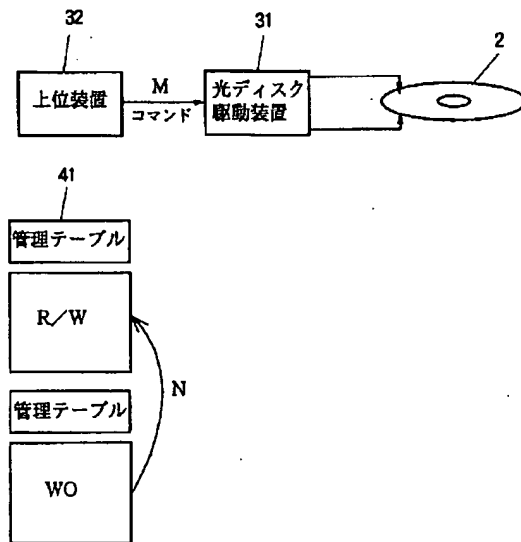
【図27】



【図28】



【図29】



フロントページの続き

(72)発明者 大畑 博行
京都府長岡京市馬場図所1番地 三菱電機
株式会社映像システム開発研究所内
(72)発明者 中根 和彦
京都府長岡京市馬場図所1番地 三菱電機
株式会社映像システム開発研究所内

(72)発明者 古川 輝雄
京都府長岡京市馬場図所1番地 三菱電機
株式会社映像システム開発研究所内
(72)発明者 近藤 潤一
兵庫県尼崎市塚口本町8丁目1番1号 三
菱電機株式会社伊丹製作所内
(72)発明者 乙武 正文
兵庫県尼崎市塚口本町8丁目1番1号 三
菱電機株式会社材料デバイス研究所内